

製品名: CYP2J2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09658**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP2J2
別名	CYP2J2; Cytochrome P450 2J2; Arachidonic acid epoxygenase; CYP11J2
遺伝子 ID	1573.0
SwissProt ID	P51589
免疫原	抗血清はヒトシトクロム P450 2J2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

背景

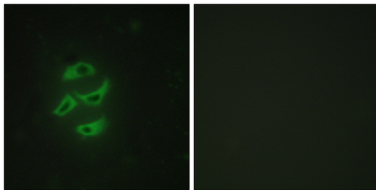
この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードしています。シトクロム P450 タンパク質は、薬物代謝や

コレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒するモノオキシゲナーゼです。このタンパク質は小胞体に局在し、心臓組織における内因性アラキドン酸のエポキシ化を担う主要な酵素と考えられています。この遺伝子には複数の転写バリエーションが分かっています。[RefSeq 提供、2016年1月],触媒活性: $RH + \text{還元型フラビントタンパク質} + O_2 = ROH + \text{酸化型フラビントタンパク質} + H_2O$,補因子: ヘム基,機能: この酵素は、主に NADPH 依存性のオレフィンエポキシ化反応を介してアラキドン酸を代謝し、4種類のシス-エポキシエイコサトリエン酸 (cis-エポキシエイコサトリエン酸) を生成します。内因性心臓アラキドン酸プールのエポキシ化を担う主要な酵素の1つ。、オンライン情報:CYP2J2 アレル,類似性:シトクロム P450 ファミリーに属します。、組織特異性:心臓で高く発現し、肝臓、回腸、空腸、結腸、腎臓にも低レベルで存在します。、

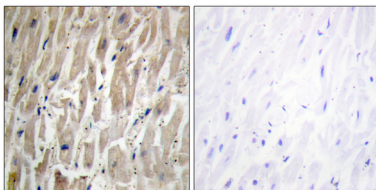
研究分野

アラキドン酸代謝;リノール酸代謝;

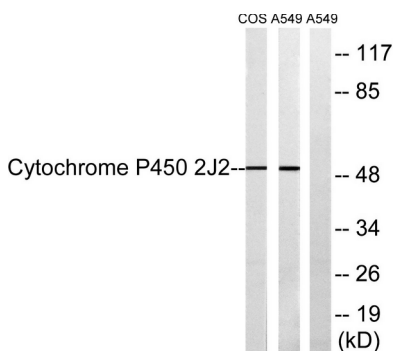
画像データ



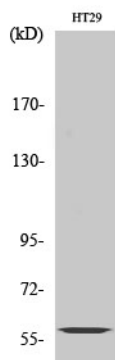
シトクロム P450 2J2 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



シトクロム P450 2J2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



A549 細胞および COS7 細胞のライセートをシトクロム P450 2J2 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



CYP2J2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

